

科 目	地域学 (Regional Studies)		
担当教員	八百 俊介 教授		
対象学年等	全専攻・2年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	C3(100%)	JABEE基準1(1)	(a),(b)
授業の概要と方針	地域社会集団について、組織構造・運営方法の現状と変遷を社会的背景からたどった後、機能の分類と実態、変化の内的・外的要因を考察する。最後に地域社会が今後果たすべき役割とその実現方法について検討する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C3】地域社会への帰属問題、制度上の変遷の背景が理解できる		地域社会への帰属と派生する問題、制度上の変遷の社会的背景が時系列的に把握できているか定期試験、レポートで評価する、
2	【C3】地域社会の組織構造を理解し、機能を分析することができる		地域社会の組織構造が理解できているか、機能を分析することができるか定期試験、レポートで評価する
3	【C3】地域社会の機能の変化要因が理解できる		地域社会の機能変化に関する内的・外的要因が説明できるか定期試験、レポートで評価する
4	【C3】地域社会の今後果たすべき役割とその方策が理解できる		地域社会の今後果たすべき役割とその体制作りが提示できるか定期試験で評価する
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験90% レポート10% として評価する。100点満点とし、60点以上を合格とする		
テキスト	プリント		
参考書	授業時に提示		
関連科目	なし		
履修上の注意事項			

授業計画 1（地域学）		
回	テーマ	内容（目標，準備など）
1	地域社会集団の位置づけ1	地域社会への帰属問題と組織構造の変化，その背景を解説する
2	地域社会集団の位置づけ2	第1週目に同じ
3	地域社会集団の組織構造	地域社会集団の組織構造を解説する
4	地域社会集団の実態	地域社会集団の現代の機能分類を提示し，実施の機能の活性度を検証する
5	機能の変化と要因	地域社会集団の機能の変化の要因を解説する
6	地域社会集団の周辺環境1	地域社会集団を取り巻く社会情勢を検証する
7	地域社会集団の周辺環境2	第6週目に同じ
8	活性化・人材1	地域社会集団の活性化の一端である人材確保の方法を検討する
9	活性化・人材2	第8週目に同じ
10	活性化・人材3	第8週目に同じ
11	活性化・空間1	地域社会集団の活性化の一端である活動場所の方法を検討する
12	活性化・空間2	第11週目に同じ
13	活性化・空間3	第11週目に同じ
14	活性化・財源1	地域社会集団の活性化の一端である財源確保の方法を検討する
15	活性化・財源2	第14週目に同じ
備考	本科目の修得には，30 時間の授業の受講と 60 時間の自己学習が必要である。 前期定期試験を実施する。	